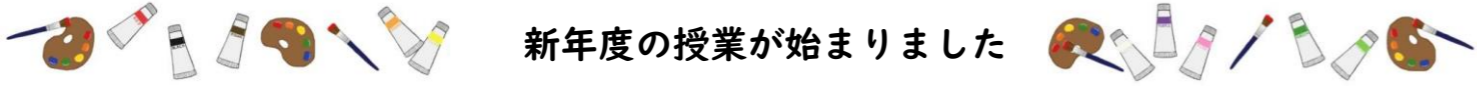


# 美術だより

## 新年度の授業が始まりました



今年度も美術の授業を担当します、田中 もなみです。“田中先生”は複数いますので、“もなみ先生”と呼んでくれると嬉しいです。

先日 1年生の初回の授業では、3年間使用する教材を配布しました。生徒は目を輝かせながら記名をしていました。1年生のみなさんは、中学生という新たな生活の始まりに期待や不安もあるかと思いますが、一緒に頑張りましょう！

2年生、3年生のみなさんには、昨年度の自分より成長することを意識しながら制作に臨んでほしいと願っています。宿題をはじめ、提出物は期限を守るようにしましょう。

今年度もどうぞ、よろしくお願いいたします。

## 持ち物に名前を書きましょう

2・3年生も新しく購入した絵の具のチューブなど、もう一度 名前が書いてあるか、確認をしましょう。また、新しく購入したものでなくても、洗っている・使っているうちに読みにくくなっている場合もあります。

水道に忘れていく人が多いです。六角の軸の一面にフルネームで書こう！

セットに入っていたものが汚れている人は、お家にある 使い古したタオルに交換しても大丈夫です。

画数が多い人は、カタカナで書いても大丈夫です！イニシャルは他の人と同じ場合が多いのでやめましょう…。

記名用のスペースはありませんので…裏面(絵の具を乗せる方と反対側の面)に、誰が見ても分かるように書きましょう！

美術の教材は全て“美術バック”にしまっている、スッキリ！  
美術室への教室移動もラクラク♪



## 美術館・博物館に行ってみよう



新型コロナウイルスの感染拡大が続き まだまだ予断を許さない状況ですが、以前に比べると 美術館・博物館も展覧会が企画され、賑わいが戻りつつあります。新年度の疲れを癒すとともに、ご家族でお出掛けしてみてもいかがでしょうか。

美術館・博物館などの施設は、図書館と同様に「動き回ってはいけない」「騒いではいけない」といったルールや雰囲気、どうしても「堅苦しい」というイメージをもってしまっていると思います。しかし、禁止されている行為のほとんどが『作品保護』のためです。この機会に知っておきましょう。



### 今さら聞けない!? 美術館で守りたい6つのルール

- ① 作品に触れてはいけません  
美術館の作品は所蔵作品であっても 大事な市民の財産であり、何か損害があっては取り返しがつきません。
- ② 荷物は持ち込めないものもあります  
傘は長く先が尖っているため、生花は虫を誘うため、大きな荷物は人にぶつかって倒れるかもしれないからなども作品保護の観点から規制されているものがあります。単純に、身軽な方が鑑賞しやすいでしょう。
- ③ 飲食はできません  
厳しいと感じるかもしれませんが、飴やガムも禁止です。美術館の休憩室でなら飲食は可能です。
- ④ 筆記用具は鉛筆のみ  
作品名や感想などをメモするために筆記用具を使用しても構いませんが、「シャーペン(芯が折れやすい)やボールペン(インクがつくと消せない)などは使わないでください」と案内している施設が多いです。
- ⑤ 作品の撮影をしてはいけません  
著作権上の問題から多くの美術館では禁止されています。最近では、展覧会の主要な作品のみ撮影可にする美術館も増えているように感じます。撮影可の場合は、必ず表示があります。
- ⑥ 鑑賞の妨げになる行為はやめましょう  
家族や友達と一緒に作品を鑑賞した時に、感想を共有するのも良いでしょう。しかし 授業でも、集中しているのに関係のない話が聞こえてきたら嫌になってしまいますよね。美術館では無理に他人に合わせる必要はありませんが、公共の場ということ意識しましょう。もちろん、携帯電話・スマートフォンはマナーモードに…。



実は、美術館の展示室が寒いのも『作品保護』のためです。保存に最適な温度は作品の素材によって異なります。光も作品管理上、重要視されています。特に、写真や版画などの印刷物は、湿度・照度の影響を大きく受けるそうです。  
ルールやマナーはたくさんありますが、十年後、百年後も作品を楽しむために みなさんも心掛けてください。